

2018
初春号
No.73

ほなみ

穂 潤

For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所

早稲田大学藤沢稻門会

発行人 足立 勲一郎
穂 潤 編集委員会

リコーダーアンサンブルの演奏でスタート



ビンゴの景品「藤沢百趣のかかるた」

平成29年忘年会

同好会紹介やビンゴ大会で盛り上がる！

暖かな日より恵まれて

12月10日に恒例の忘年会が

開催された。

会場の藤沢市民会館第2

展示ホールでは76名の会員

が勢揃い。司会は杉下由輝

幹事。開会の前にリコーダー

アンサンブルの名演奏で始まつ

た。何曲か演奏し終曲は「上を向

いて歩こう」。全員の合唱で幕を

閉じ楽しい曲であった。

足立勤一郎会長の藤沢稻門会が

450名にもなる大団体となつた。

挨拶に礼を述べられ、宴会は久我

陽一顧問のお元気な乾杯のご発声

で始まった。

各自久ぶりの交流を深める中で

活躍中の同好会の発表があった。

先頭のリコーダーアンサンブルに

引き続き、藤沢フォトクラブ→藤

稲歌う会→ソフトボール同好会→

藤沢ゴルフ会→稻声会→パソコン

のかるた」を披露し、それをビンゴの景品にして花を添えた。そのような結びつきも楽しいものである。

さていよいよメインイベントの登場です。ビンゴの司会は洞江良

ます。新年開けましてお目出どうござい

ます。昨年は、藤沢稻門会創立25周年

の年として、会員の皆様には色々

お願い致しましたが、皆様の多大

なご協力を賜わり、無事成功裡に

終わることが出来ました。会員の

皆様には心よりお礼申し上げます。

今年は、藤沢稻門会にとりまし

ては、第二ステージの第一歩の年

となりますが、特に来年には、3

回目の県支部大会開催を控え、そ



年頭に当たつて 会長 足立 勲一郎

(高野尚志 記／写真)

幹事と近々入会予定の若い女性との名コンビで行われました。当初はなかなかビンゴがでませんでしたが出始めるとあちらこちらから歓声が聞こえました。今年からは当たり順に好きな景品を選ぶ形から、予め決められた景品が渡されるルールに変更されました。当たった方は本当におめでとうござります。

最後は有賀正義会員のリードで校歌を斉唱し、本谷守行事企画運営委員長からの御礼があり、今年の忘年会のお開きとなつた。



ビンゴ大会で司会をしたご両人



最後は全員の校歌斉唱で締めた



祝辞を述べた鎌田薰総長

藤稻フォトクラブ恒例の秋の撮影旅行が10月24日、25日の一泊で行われた。参加会員は5名。

天気予報では24日の朝にかけて大型台風が関東を通るかと心配をもんでいたが、参加者の心がけが良く、前夜には東北沖に去っていた。



紅葉と滝を背景に！

心がけの良さは紅葉の色付き具合にも現れ、行く先々の撮影ポイントは紅葉のピーク。撮影会担当幹事が策定したルートで、一日目は鬼怒川温泉駅を起点に龍王峡、川治ダム、湯西川温泉駅付近から

会場の大磯プリンスホテルでは商議員会懇談会に続き、午後4時より県支部大会が開催され、大学から鎌田薰総長以下7名県下稻門会から241名、藤沢からは22名が出席した。

総長や来賓の挨拶、寄付金贈呈、廣木助教の記念講演、そして懇親会と続き、地元小中学生のよさこい踊り、応援団とチアリーダーが会場を盛り上げる。

藤稻フォトクラブ

秋の撮影旅行 奥日光へ

藤稻フォトクラブ恒例の秋の撮影旅行が10月24日、

25日の一泊で行われた。参

野岩鉄道の電車を撮影、瀬戸合峡

では狭い道と駐車場が少ないので

有名だが、奇跡的に駐車して撮影

ができた。霧降高原では文字通

り霧が深かつた

が、一瞬の切れ

で夕景の雲海

が撮れた。

大江戸温泉物語に宿泊の翌日、

紅葉のいろは坂

を経由して湯滝、

湯ノ湖、戦場ヶ

原、中禅寺湖、

稲門 潤

神奈川県支部大会

11月4日（土）「なつかしい友と、新しい時間へ」のテーマのもと県支部大会が開催された。

会に先立ち大磯の旧大隈邸に県下稻門会会長が招待され、美しい庭園で昼食と琵琶演奏を楽しむという特別企画も織り込まれた。

会場の大磯プリンスホテルでは商議員会懇談会に続き、午後4時より県支部大会が開催され、大学から鎌田薰総長以下7名県下稻門会から241名、藤沢からは22名が出席した。

総長や来賓の挨拶、寄付金贈呈、廣木助教の記念講演、そして懇親会と続き、地元小中学生のよさこい踊り、応援団とチアリーダーが会場を盛り上げる。

最後に大会旗が次期開催地の茅ヶ崎稲門会に引き継がれ閉会となつた。聞けば平塚稲門会はこの準備を3年前から始めたという。実

施要項も12ページに及んでいる。2年後に主管となる藤沢稲門会にも大いに参考となる会であった。

（笛井修一 記）



元気をくれた応援団



よさこい踊りで会場を盛り上げた！

女性の会「麦の会」

10月21日（土）レストラ

ン「レスプリ・フランセ」

にてピアニスト藤原真理子

さんを迎え、15周年記念コンサートを開催しました。

当日は横浜稲門会女性の会のご来賓2名を含め参加

者は総勢47名。コンサート

曲目は多岐にわたり、彼女の奏で

れるような透明感にあふれ、しつ

とりと私たちの心を魅了してくれ

ました。最後は辻堂ゆかりの「浜

辺の歌」を全員で合唱。会場は終

始和やかな雰囲気で終了しました。

日光東照宮など多彩な撮影ポイントを巡った。

天候と撮影環境には恵まれたが作品の出来は別物、各自の腕に懸かっているのだ。

塩瀬喜久（昭和38・政経）



藤原真理子さんを中心に！

15周年記念コンサート開催！

穗

濤

藤稻史跡巡りの会

史跡巡りの会も25回の節目を迎え、今回は11月14日(火)「秋の村岡地区を訪ねる」をテーマに26名が参加して開催されました。

前日からの雨も止み曇天

の中、吉澤忠雄幹事の懇切丁寧な案内を聞きながら村岡・弥勒寺・川名と南下し、

地域の地理的な景観・神社仏閣などの史跡を巡りました。

慈眼寺・天嶽院・村岡城址・長福寺・高谷大神宮・荒神神社・弥勒寺・宮前御靈神社・神光寺などはそれぞれに由緒があり、普段で

丁寧な案内を聞きながら村岡地区は市内でも最も開発が進んで変貌してしま

「葡萄畠」訪問コンサート

12月26日、1日遅れのクリスマスになりましたが、

歌う会メンバー15人で、今年も辻堂のグループホーム「葡萄畠」をお訪ねしました。

2階の陽だまりのお部屋に上がると、皆様の温かな笑顔と再会。「お久しぶりです。この1年お元気にお過ごしでしたか?」お互いの思いが伝わり合うかのようですね。

並木宏之さんの懇切丁寧な曲目紹介で「春の唄」「さくら貝の歌」「臘月夜」「七里ヶ浜の哀歌」を皆様と一緒に。更に懐かしい昭和

途中休憩をはさみ恒例のイベントです。「サンタさあくん」と一同声を揃えて呼びかけること3回。すると何ともユーモラスな動きの可愛らしいサンタさんが登場。今年も素敵なお手元に届きました。

後半は歌う会の持ち歌「アヴェマリア」を4重唱でご披露。現在練習中ということもあり、さて出来栄えの程は?

ラストはもちろんクリスマスソングで、「春の唄」「さくら貝の歌」「臘月夜」「七里ヶ浜の哀歌」を皆様と一緒に。更に懐かしい昭和

秋の村岡地区を訪ねる

はめつたに立ち入ることのできなところまで拝覗させていただきました。

特に天嶽院北側の宅地造成中の崖から、ナウマン象の化石(地層から12~15万年前、生命の星地球博物館にレプリカ展示)が発見された場所では、悠久の歴史に浸ることが出来ました。

中野正一(昭和45教育)

つた所です。点在した史跡に立ち、吉澤幹事の豊富な内容のガイドを聞きながら暫し感慨の時間を持てました。

「こんな身近なところに、すごい歴史が……」参加者のこの日の感想です。

10月15日に行われました。大学主催のホームカミングディと同じ日に開催される校友会主催の「稻門祭」は校友の親睦を深める場であるとともに、校友のご協力により、その全ての収益を校友会奨学金として現役学生に贈る意義深いイベントでもあります。

本年は大隈講堂で12時からトークライブ。「激論! 私流ジャズの楽しみ方」が生演奏を交えながら行されました。タモリ

が出演したため雨天にも拘わらず多数の聴衆が参加されました。



慈眼寺山門にて

稻門祭

早稲田大学卒業生(校友)の祭典「稻門祭」が10月15日に行われました。

大学主催のホームカミ

ングディと同じ日に開催



クリスマス気分を堪能しました

(佐藤順子文・写真)



藤沢稻門会からの実行委員は

昨年度に引き続き大隈講堂前のテントに朝8時半に集合、10時からの式典開催に備えました。

昨年度は校友の皆様のご協力を得て約1千万円の収益となり現役学生に一人あたり40万円を26名に支給することが出来ました。

深く御礼申し上げます。

今年は2千万円を超える収益が見込まれており、稻門祭プロダクションには2名の奨学生からの皆様へのメッセージが載せられております。来年度は皆様にお届けしたいと考えております。

(元憲幸記)



卒業生の祭典「稻門祭」開催

穗 潤



藤沢代表の岩淵元顧問と鈴木昱生顧問

たが、シンケルは完勝。8対1で勝利。選手・サボート・応援ど チーム全員の心を1つにし、王座連覇の栄光をつかむ事が出来た。

ふとくぐりを経てスギを見ては前に詰めてボレーで決めるイメージ通り！もあり、とばかりには行かない悩みもあり！

浅見夫妻差し入れの手作りドーナツでカロリー補給しつつ、各自4戦を戦いました。結果、獲得ゲーム数、赤48×白46で、赤チームの勝利でした。



熱戦を終えて、最後は笑顔で！

母校庭球部の連覇を応援！

今年の大学日本一を決め
る「全日本大学対抗テニス

母校の他の部の追従を許さない戦

学生王座決定試合」が10月に東京・有明テニスの森公園を中心に開催。全国各地区代表の男子10

校・女子10校が集まり、試合はトーナメント方式で、男子がダブルス3・シングルス6で、女子はダブルス3で行われた。

結果、母校の男女が優勝し
13連覇・女子は12連覇と未
だ記録を更新した。毎年、

東伏見には母校のサッカー場・野球場などがあり、早稲田スポーツのメツカ。

14日の男子決勝戦は、早稲田の本拠地で運命の早慶対決。雨の中東伏見にある庭球部コートへ、岩

決勝戦は雨天で有明コートが使用できず、男子は早稲田で、女子は慶應義塾で、各室内コートとなつた。

した。筑波大には、今秋リーグ戦では辛くも勝利し、夏のインカレ（個人）不振から、戦前は厳しい戦いが予想されが、ダブルス・シングルス共完全勝利で、王座連覇を勝ち取った。選手は、苦しい場面もあつたが、冷静な対応・自分を奮い立たせる気迫意地・ゲーム中の応援など25人で掴み取った王

いと覇者として伝統の力を發揮しての頂点。

青天の下、熱戦が続く！

それぞれに賞品を頂き、来年に向けての自分のノビシロに期待しつつ、秋風の中を帰路に着きました。

今は昔の その昔には
小栗判官 八松ヶ原が いま辻堂
伝説残る 照手姫との 長生院

高い。来年も庭球部の歴史づくりを応援しよう!!

催され、5日間で延べ42名の校友が応援に駆け付けて以来、その縁もあり、応援を重ねている。庭球部では「藤沢門会」の田名簿は

『かるた藤沢百趣』より
（正月）

文芸サロン

太田道灌 藤沢御殿の名残は今も大庭城址はいま桜
劉生 杉山検校 煉瓦が残る 陣屋小路や御殿橋
実篤 墓のかたわら 点字冷たし 梅二輪
龍之介 コッキング苑は島の上 鶴沼ゆかりの東家

穂 潤

穂濤俱楽部

去る11月4日（土）に穂濤俱楽部の最終回として、200回目をコメンテーター・長瀬輝行氏により開催いたしました。

この穂濤俱楽部は平成11年（1999年）10月を第1回として毎年11回開催し、18年間続けて今回で200回となつたところで終了いたしました。

きっかけは当時の会員へのアンケートから「校友会活動の中に、文芸・経済・時事等のことを気軽に話し合えたり、あるいは勉強が出来る会が欲しい」との声があつたことから校友の中から講師を募り、毎月講演をお願いするという形でスタートいたしました。

この間コメントーターとしては96人が多岐にわたる話をして頂き、中には16回講演いたいた方が2人、13回が1人と話題の多い方もおりまして200回開催ができました。

毎月第2土曜日の午後アコレードという喫茶店に集まりコメントーターの話を楽しみながら1時間半ほどの時間を過ごしてまいりました。さすがに早稲田大学を卒業した。さて社会の一線で活躍された校友の話はバラエティに富み、毎回楽しくて貴重な話が聞けました。

元藤沢校友会・稲門会の方々ではどんどのコメントーターは地裏話として、天皇陛下とは、約

穂濤俱楽部200回を迎えて

り、当藤沢稲門会の人材の豊富さがうかがわれます。

今回で穂濤俱楽部は終了いたしますが、校友の貴重な話を校友の中で共有できるこの様な会を何らかの形で再開されることを強く望みます。

最後にこの穂濤俱楽部を長年にわたり支えていただきました校友の皆様に熱く御礼申し上げます。

穂濤俱楽部主宰

長瀬輝行（昭和36・法学）



最後の穂濤俱楽部に参集した皆様

緑綬褒章を受章して

会員の広場

会長を務めさせて頂いております、「藤沢市みどりいっぽい市民の会」が、平成29年秋の褒章で、「緑綬褒章」受章が決まり、11月14日、会を代表して伝達式に出席して参りました。

午前中、国土交通省で伝達式。

社会奉仕分野を代表し、私が登壇させて頂き、石井啓一国土交通大臣より直接授与されました。

午後は皇居に移動。春秋の間に於いて、天皇陛下にご拝謁もさせて頂き、その後、受章の方々の裏話として、天皇陛下とは、約

最後に「緑綬褒章」受章の栄誉



国土交通省での伝達式

第94回箱根駅伝

西会場（辻堂太平台）の2会場を設置し、藤沢を駆け抜けた選手たちに声援を送った。

特に、今年から変更となり、改めて感謝申し上げます。今後とも、「藤沢市みどりいっぽい市民の会」を宜しくお願い致します。

杉下由輝（平成9教育）

は、多くの皆様方に40年以上に渡り、ご支援・ご協力頂いた賜物であり、改めて感謝申し上げます。

6分しかお目にかかりませんでしたが、部屋やバスの中で約3時間ひたすら待ち続けており、正直な感想は、すごく待ち疲れました。

同会は、昭和52年10月、藤沢青年会議所10周年記念事業「緑の街づくり」という16ミリの映画を制作したのがきっかけで設立されました。藤沢市の緑を守り、育て、合わせて、次代を担う青少年の健全育成を目的に活動を行つております。事務局は、藤沢市役所みどり保全課。年会費1000円の静財を頂き、活動を続けておりますので、この機会に、是非ともご入会頂けると幸いです。

会場には例年どおり近隣稲門会や三田会の皆さまが参加してくれたほか、昨年に引き続き秋田県支部からも佐野元彦幹事長ほかの校友が来場し、きりたんぽも振る舞われた。さらには近年流行の「追っかけ」を楽しむ校友や学生も多数立ち寄った。

箱根駅伝は沿道の校友たちだけではなく、全国の校友や学生をつなぎ、親睦を深める催しなつてい

往路復路の「真ん中」藤沢





3区で競り合う光延誠選手



8区を走る大木皓太選手



8区を走る慶應の根岸祐太選手

行事予定

■ 定時総会・新春のつどい

日時・2月10日（土）
会場・藤沢市民会館

「会員作品展」 4月に開催

第18回会員作品展を来る4月24日から29日まで市民ギャラリーで開催いたします。皆様のご出展を心よりお待ち申しあげます。

尚、前回の「美術展」の名称は、詩歌など作品のジャンルが多様化する中、出展者の皆様の多くのご意見を反映させて頂き、今回から「作品展」と変更させて頂きました。力作揃いの会員作品展には非ご来場頂きますようお願い申し上げます。

■ 第18回会員作品展
日時・4月24日（火）～
29日（日）
会場・藤沢市民ギャラリー

編集委員長
編集委員

舛岡 健
葛西暢人・笛井修一
佐藤順子・高野尚志
元 憲幸・山口金雄
山下扶佐子